

メインプログラム

大会長講演

第1会場 5月17日(土) 8:45～ 9:45

「利他」の倫理

座長： 小 笹 由香 (東京科学大学大学院保健衛生学研究科)

演者： ウイリアムソン 彰子 (神戸大学医学部附属病院)

基調講演

第1会場 5月17日(土) 10:00～11:00

利他とは何か——「心」から「しくみ」へ

座長： ウイリアムソン 彰子 (神戸大学医学部附属病院)

演者： 伊藤 亜紗 (東京科学大学 未来社会創成研究院)

教育講演 1

第1会場 5月17日(土) 11:10～12:10

医療現場における多様な性のあり方と倫理的課題

～法の下の平等と Pride の現状から考える～

座長： 松浦 正子 (大阪信愛学院大学看護学部)

演者： 藤井 ひろみ (大手前大学)

教育講演 2

第1会場 5月18日(日) 8:30～ 9:30

関係からはじまる教育—社会構成主義的アプローチ—

座長： ウイリアムソン 彰子 (神戸大学医学部附属病院)

演者： 鮫島 輝美 (関西医科大学看護学部)

教育講演 3

第1会場 5月18日(日)11:20~12:20

未自覚な産科暴力を回避する試み

座長：竹内 佳寿子 (姫路大学看護学部看護学科)

演者：早乙女 智子 (神奈川県立足柄上病院婦人科、公益社団法人ルイ・パストゥール医学研究センター)

シンポジウム 1

第1会場 5月17日(土)13:30~14:50

外国人医療や福祉をめぐる倫理的問題

～誰一人取り残されない医療～

座長：益 加代子 (大阪公立大学大学院看護学研究科 看護学専攻)

新垣 智子 (地方独立行政法人りんくう総合医療センター 患者サポートセンター兼国際診療科)

オーガナイザー：新垣 智子 (地方独立行政法人りんくう総合医療センター 患者サポートセンター兼国際診療科)

SY1-1 突然の脳卒中発症で意識障害を生じた外国人患者への代理意思決定支援

小城 千絵 (地方独立行政法人りんくう総合医療センター)

SY1-2 在留外国人の医療アクセスにおけるハードル

永尾 真美 (地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 国際部)

SY1-3 地方における在日外国人高齢者の在宅ケアの現状

フフ デルゲル (特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター)

SY1-4 地域に増え続ける多国籍困窮世帯、子育て困窮世帯へ、(食支援・生活支援、寄り添い)

横田 弘美 (一般社団法人 子どもの居場所サポートおおさか)

シンポジウム 2

第1会場 5月17日(土)15:10~16:40

アドバンス・ケア・プランニング～患者・家族と共に取り組むために～

座長： 今西 優子 (神戸大学医学部附属病院)

竹之内 沙弥香 (京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻先端基盤看護科学講座)

SY2-1 アドバンス・ケア・プランニング

～患者・家族と私たちができること～

坂下 明大 (兵庫県立はりま姫路総合医療センター 緩和ケア内科)

SY2-2 高齢がん患者のアドバンス・ケア・プランニング

～前立腺がん患者への支援を通して考える～

木村 実咲 (神戸大学医学部附属病院看護部)

SY2-3 終末期患者の意向に沿った意思決定支援

～ICD 停止を希望しなかった慢性心不全患者の一例～

石井 裕輝 (株式会社アンビスホールディングス)

パネルディスカッション 1

第1会場 5月18日(日) 9:40~11:10

発達障害特性のある看護学生・看護職への理解と支援

座長： 田村 康子 (兵庫医科大学看護学部)

三井 由紀子 (神戸大学医学部附属病院)

PD1-1 発達障害児の大学入学までの支援について

今西 宏之 (みなとのこども診療所)

PD1-2 発達障害のある看護系学習者への対応において何が問題なのか

川上 ちひろ (岐阜大学 医学教育開発研究センター)

PD1-3 発達障害が疑われる新人看護師の特性を理解した教育支援方法

杉原 博子 (岐阜大学医学部附属病院看護部)

パネルディスカッション2

第1会場 5月18日(日)14:30~16:00

臨床における倫理カンファレンスの活性化に向けて

座長： 小西 恵美子 (鹿児島大学)

ファシリテーター： 高橋 梢子 (島根県立大学)

PD2-1 臨床倫理ガイドライン検討委員の立場から

長谷川 美栄子 (社会福祉法人愛全会高齢者総合福祉施設サン・グレイス)

PD2-2 看護倫理カンファレンス・ファシリテーター養成事業検討委員の立場から

青山 ヒフミ (千里金蘭大学大学院)

PD2-3 日本看護倫理学会理事長の立場から

前田 樹海 (東京有明医療大学)

市民公開講座

第2会場 5月17日(土)13:30~14:30

ご存じですか？神戸市民のための認知症対策！

～住み慣れた神戸で自分らしく安心してくらし続けるためのヒント～

座長： 石橋 信江 (公立大学法人三重県立看護大学)

PL-1 認知症の人にやさしいまち神戸市モデルとは？

永濱 佳奈 (新生病院認知症疾患医療センター)

PL-2 利他の視点と認知症の人の意思決定支援

鶴屋 邦江 (新生病院 神戸市認知症疾患医療センター)

ランチョンセミナー

第1会場 5月17日(土)12:30~13:20

痛くない吸引と簡便さを両立した気道クリアランス手法『バキューミング』による 医療の効率化

座長： 吉兼 伸子 (広島国際大学 看護学部 看護学科)

共催：栃木精工株式会社

吸引の常識を問い合わせー医師とともにづくり企業が挑む“痛くないケア”の社会実装

LS-1 石北 直之 (神戸大学 未来医工学研究開発センター)

LS-2 川嶋 大樹 (栃木精工株式会社)

交流集会

交流集会 1

第3会場 5月17日(土)11:10~12:10

【編集委員会企画】日本看護倫理学会誌 投稿のお誘い

山田 聰子¹⁾, 足立 智孝²⁾, 田中 美恵子²⁾, 八尋 道子³⁾, 山内 典子⁴⁾, 山下 早苗⁵⁾

1) 日本赤十字豊田看護大学 2) 亀田医療大学 3) 佐久大学 4) 東京女子医科大学病院
5) 静岡県立大学

交流集会 2

第3会場 5月17日(土)13:30~14:30

医療現場におけるスピーチロックについて考える

桐山 啓一郎¹⁾, 佐藤 章伍²⁾

1) 名古屋市立大学 2) 朝日大学

交流集会 3

第3会場 5月17日(土)14:40~15:40

看護師のレジリエンスを促進するリトリートの取り組み

—倫理的ジレンマや悲嘆を意味あるものに転換する私たちの内在する力の発展—

中村 正子¹⁾, 仲尾 由美²⁾, 新田 崇信³⁾, 安永 ちはる⁴⁾

1) 京都看護大学 2) かしのき訪問看護ステーション 3) 大慈山佛心寺 4) 愛知医科大学病院

交流集会 4

第3会場 5月17日(土)15:50~16:50

スタッフが気軽に倫理的課題を語れる職場にする工夫

～精神科病院における虐待防止に関する調査結果から～

小野 悟¹⁾, 桐山 啓一郎²⁾, 白田 成之¹⁾

1) 岐阜協立大学 看護学部 2) 名古屋市立大学 大学院看護学研究科

交流集会 5

第1会場 5月18日(日)13:20~14:20

【臨床倫理ガイドライン検討委員会企画】「利他」と倫理的看護実践 ～対象の尊厳を守るために、私たちは何ができるのか？～

竹之内 沙弥香¹⁾, 長谷川 美栄子²⁾, 浅井 さおり³⁾, ウイリアムソン 彰子⁴⁾,
内山 孝子⁵⁾, 友竹 千恵⁶⁾, 三浦 直子⁷⁾

- 1) 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 先端基盤看護科学講座
- 2) 社会福祉法人愛全会高齢者総合福祉施設サン・グレイス
- 3) 天使大学看護栄養学部看護学科 老年看護学 4) 神戸大学医学部附属病院
- 5) 神戸市看護大学 基盤看護学領域 6) 目白大学 看護学部看護学科 成人看護学
- 7) 医療法人 聖愛会 発寒リハビリテーション病院 看護部

交流集会 6

第3会場 5月18日(日) 8:30~ 9:30

看護職のジレンマを声にする。倫理的対話を促すための倫理ファシリテーションを語ろう

松村 優子¹⁾, 山内 典子²⁾, 前田 一枝¹⁾, 安田 妙子²⁾, 三村 千弦³⁾, 吉田 こずえ⁴⁾,
塚田 亜矢子³⁾

- 1) 京都市立病院看護部 2) 東京女子医科大学病院看護部
- 3) 東京女子医科大学八千代医療センター看護部 4) 宝塚市立病院看護部

交流集会 7

第3会場 5月18日(日) 9:40~10:40

【学術活動推進委員会企画】日本看護倫理学会の研究助成の制度のご紹介と、助成金申請へのアドバイスを実施します

相原 ひろみ¹⁾, 麻原 きよみ²⁾, 小野 若菜子³⁾, 鈴木 真里子⁴⁾, 中川 典子⁵⁾,
杉山 祥子⁶⁾

- 1) 愛媛大学 医学系研究科看護学専攻 基盤・実践看護学講座 2) 大分県立看護科学大学
- 3) 東京都立大学 健康福祉学部看護学科 高齢者看護学 4) 長野県立大学
- 5) 京都第二赤十字病院 6) 東北大学

交流集会 8

第3会場 5月18日(日)10:50~11:50

がん患者のエンドオブライフケアでのグリーフや共感疲労を乗り越える取り組み —セルフコンパッションとレジリエンス—

中村 正子¹⁾, 前原 なおみ²⁾, 内藤 綾子³⁾, 仲尾 由美⁴⁾, 佐野 千尋¹⁾

1) 京都看護大学 2) 四天王寺大学看護学部 3) 信州大学医学部付属病院

4) かしのき訪問看護ステーション

交流集会 9

第3会場 5月18日(日)13:20~14:20

【研究倫理委員会+研究倫理審査委員会企画】

倫理審査シミュレーション：承認までの鍵を見つけよう

八尋 道子¹⁾, 麻原 きよみ²⁾, 井上 都之³⁾, 二神 真理子¹⁾, 真弓 尚也⁴⁾

1) 佐久大学 看護学部 2) 大分県立看護科学大学 3) 岩手県立大学 4) なし

一般演題

一般演題 1 意思決定支援

第2会場 5月17日(土)11:10~12:10

座長：内山 孝子（神戸市看護大学）

O1-1 「A 病棟の意思決定プロセス支援における現状と課題」

竹内 絵梨

札幌市病院局市立札幌病院

O1-2 終末期高齢患者の意思決定支援

～退院支援を通して～

菅野 美香

独立行政法人 労働者健康安全機構 福島労災病院

O1-3 発達停滞を伴う胆のうがん患者における倫理的課題

入矢 涼子

一般財団法人 倉敷成人病センター

O1-4 壮年期初期がん患者の治療選択における意思決定支援

四家 智恵

独立行政法人労働者健康安全機構福島労災病院 看護部

O1-5 訪問看護師が Advance Care Planning (ACP) 実践上で体験する倫理的問題： 特定行為研修修了の有無での比較

二神 真理子, 八尋 道子

佐久大学看護学部

一般演題 2 倫理的環境/看護教育/その他

第2会場 5月17日(土)14:50~15:40

座長：高橋 梢子（島根県立大学）

O2-1 「身体抑制等を使用している患者の看護記録の記載率向上に向けた介入」

竹内 絵梨

札幌市病院局市立札幌病院

O2-2 身体拘束の解除に対する病棟看護師の認識

小宮山 良子¹⁾, 小池 信代²⁾

- 1) 社会医療法人青虎会 フジ虎ノ門整形外科病院 療養病棟
- 2) 社会医療法人青虎会 フジ虎ノ門整形外科病院 看護管理室

O2-3 精神保健福祉法改正に伴う A 県内の精神科病院における虐待防止に関する取り組みと課題

小野 悟, 白田 成之

岐阜協立大学 看護学部

O2-4 倫理カンファレンスが開催できる人材の育成を目的とした院内看護倫理研修における成果と課題

山本 加奈子

津山中央病院

一般演題 3 優秀演題

第2会場 5月17日(土)16:00~17:00

座長 : 相原 ひろみ (愛媛大学 医学系研究科看護学専攻 基盤・実践看護学講座)

O3-1 認知症患者の意思決定を支える家族ケアの実践

～家族の意向と感情が本人の意思決定に与える影響について考える～

松永 春樹

医療法人実風会新生病院

O3-2 看護職の道徳的感受性の特徴と道徳的苦悩との関連

中村 充浩¹⁾, 前田 樹海¹⁾, 高橋 梢子²⁾

- 1) 東京有明医療大学 看護学部看護学科
- 2) 島根県立大学 看護栄養学部

O3-3 在宅療養を選択した重症心身障害者のあるがん終末期患者の家族支援

～多職種と意思実現に向けたリエゾン看護の実践～

会田 玲子

長良医療センター

O3-4 熟練訪問看護師の看護実践の倫理 :

実践における態度のマイクロ・エスノグラフィー

佐藤 博子¹⁾, 八尋 道子²⁾

- 1) 佐久大学 大学院看護学研究科 看護学専攻 研究生

- 2) 佐久大学 看護学部 大学院看護学研究科 看護学専攻

O3-5 意思決定支援における患者本人の価値観尊重尺度の開発と信頼性・妥当性の検討

弥富 祐樹

日本赤十字北海道看護大学 成人看護学領域

一般演題 4 看護教育/卒業研究

第2会場 5月18日(日) 8:30~ 9:20

座長：久間 朝子（福岡大学病院）

O4-1 看護学生の臨床実習における倫理的ジレンマについて
～看護師が行う清潔・排泄ケアを通して～

植田 愛理, 荒井 孝子

静岡県立大学看護学部

O4-2 臨床実習における看護学生の葛藤—看護倫理の視点—

廣瀬 理絵¹⁾, 宮内 信治²⁾, 小西 恵美子³⁾, 山下 早苗⁴⁾

1) 福岡県立大学看護学部 2) 大分県立看護科学大学看護学部 3) 鹿児島大学医学部

4) 静岡県立大学看護学部

O4-3 看護系大学生がとらえた生命倫理を学ぶ意義

竹崎 和子, 門倉 康恵

吉備国際大学 看護学部 看護学科

O4-4 看護学生の道徳的感受性の4年間の変化—1 大学の追跡調査から—

太田 勝正¹⁾, 嶋津 佑亮¹⁾, 滝沢 美世志²⁾

1) 東都大学 沼津ヒューマンケア学部 2) 一宮研伸大学看護学部

一般演題 5 倫理的環境/その他

第2会場 5月18日(日) 9:40~10:40

座長：石橋 信江（公立大学法人 三重県立看護大学）

O5-1 終末期患者および家族と一般病棟看護師との価値観の相違から生じる
葛藤との付き合い方と看護実践

木村 貴子¹⁾, 梶谷 佳子²⁾

1) 大阪青山大学 看護学部 看護学科 2) 京都橘大学 看護学研究科

O5-2 看護師のモラルレジリエンス向上を促進するリーダーシップ自己評価尺度の原案
作成と妥当性の検証

山本 麻記子¹⁾, 片山 はるみ²⁾

1) 浜松医科大学大学院 医学系研究科 看護学専攻 2) 姫路大学 看護学部 看護学科

O5-3 「人間関係に基づくケアの職場環境についての看護師の認識尺度日本語版(NPRBCEs-J)」の作成と内容的妥当性、実行可能性の検証

アリババイ 奈々^{1,2)}

- 1) 東京都立大学 人間健康科学科 看護科学域 成人看護学領域
- 2) 医療法人社団幸隆会 多摩丘陵病院

O5-4 病棟看護師の倫理的行動に関連する要因の検証

田中 宏幸¹⁾, 川村 三希子²⁾

- 1) 札幌医科大学附属病院 看護部
- 2) 札幌市立大学 看護学部

O5-5 A 病院における看護師の心理的安全性に配慮したカンファレンスの効果検証

齋藤 直毅

沖縄県立精和病院

一般演題 6 看護教育/その他

第2会場 5月18日(日)10:50~11:50

座長： 中村 充浩 (東京有明医療大学 看護学部看護学科)

O6-1 看護学生と看護師における倫理的感受性と災害の備えの関連 (第1報)
—倫理的感受性に焦点をあてて—

大重 育美, 片穂野 邦子

長崎県立大学 シーボルト校 看護栄養学部 看護学科

O6-2 プロフェッショナリズム教育を受けた看護学生が捉えた倫理的課題：
看護学実習の体験の語りから

宮原 香里, 八尋 道子, 吉田 文子, 二神 真理子

佐久大学 看護学部

O6-3 改正個人情報保護法下における看護実習を行う学生への患者情報の提供方法の問題点

前田 樹海

東京有明医療大学

O6-4 『歎異抄』師訓篇に学ぶ
—第四章・第五章に記される利他の実践—

平川 弘美

大谷大学大学院

O6-5 文化的基盤から見る看護倫理の一考察

宮内 信治¹⁾, 松田 順²⁾

- 1) 大分県立看護科学大学 看護学部
- 2) 帝京科学大学 医療科学部

一般演題（ポスター）

ポスター会場

P-1 病院の臨床倫理コンサルテーションチームに属する公認心理師の実践の特徴
～看護師の実践との比較検討～

山内 典子¹⁾, 塚田 亜矢子²⁾, 安田 妙子¹⁾, 近藤 直子²⁾, 三村 千弦²⁾,
松村 優子³⁾

1) 東京女子医科大学病院看護部 2) 東京女子医科大学附属八千代医療センター看護部
3) 京都市立病院看護部

P-2 健康な段階から人生の最終段階まで切れ目のない ACP(アドバンス・ケア・プランニング)を促進するための文献検討

江本 絵里奈, 小野 美喜, 佐藤 愛
大分県立看護科学大学大学院

P-3 看護管理者とスタッフ看護師の倫理的な判断や看護ケアに影響する要因の実態

中村 美起
鈴鹿医療科学大学 看護学部 看護学科

P-4 文献レビュー：看護師のウェルビーイングの関連要因

高橋 梢子
島根県立大学

P-5 看護教員の臨床実習指導における道徳的苦悩：ナラティヴアプローチ

倉橋 陽子¹⁾, 高橋 梢子²⁾, 岡安 誠子²⁾

1) 前島根県立大学大学院看護学研究科 2) 島根県立大学看護栄養学部看護学科

P-6 1校の看護専門学校の「看護倫理」科目受講前後の道徳的感受性の変化

滝沢 美世志¹⁾, 太田 勝正²⁾, 前田 樹海³⁾, 飛永 真由美⁴⁾

1) 一宮研伸大学看護学部 2) 東都大学沼津ヒューマンケア学部
3) 東京有明医療大学看護学部 4) えきさい看護専門学校

P-7 『生命倫理』を履修した看護系大学生の学び
～がん化学療法看護認定看護師が教授するがん告知～

門倉 康恵, 竹崎 和子
吉備国際大学 看護学部 看護学科

P-8 病棟看護師の倫理的ケアコンピテンシーと個人属性・施設特性との関連要因と倫理教育体制の検討

吉岡 詠美¹⁾, 金子 さゆり²⁾

1) 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 看護学科 2) 宮城大学 看護学群

P-9 効果的な倫理カンファレンスを行うための取り組み

谷口 かおり¹⁾, 庄司 寛子²⁾

1) 八尾こころのホスピタル8階病棟 2) 八尾こころのホスピタル看護部

P-10 看護学生のモラルレジエンスの研究動向

籠 玲子¹⁾, 滝沢 美世志²⁾, 太田 勝正³⁾

1) 愛知県立大学 看護学部 基礎看護学 2) 一宮研伸大学 看護学部 基礎看護学
3) 東都大学 沼津ヒューマンケア学部

P-11 看護倫理研修を専門・認定看護師が行った成果と課題

多田 真太郎, 取違 里美

鹿児島市立病院 集中治療部

P-12 日本の看護倫理に関する現任教育の現状と課題

岡島 志野

信州大学 学術研究院保健学系

P-13 高齢患者の身体拘束に対する看護師の取り組みについての文献検討

渡辺 茉¹⁾, 田中 真木²⁾

1) 名古屋大学医学部保健学科看護学専攻 2) 名古屋大学医学系研究科

P-14 効果的なデスカンファレンスの開催方法と評価の検討

大島 可奈子, 木村 稚咲子, 久津那 薫, 門谷 純奈

神戸大学医学部附属病院

P-15 身体拘束に関する医師と看護師間の思いの違いに気づいた事例検討

岡尾 初美, 角田 匠弘, 種田 有香

独立行政法人国立病院機構 とくしま医療センター東病院

P-16 日常的看護実践における倫理的葛藤場面の特徴

結城 佳子

名寄市立大学 保健福祉学部 看護学科

P-17 看護師における情動知能と倫理的行動との関係

佐藤 章伍

朝日大学 保健医療学部看護学科 基礎看護学講座

P-18 看護職者の倫理的意思決定の実践過程に関する文献検討

宮山 涼子, 吉岡 詠美

国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科

P-19 東京都内の300床未満の病院において看護師が実施しているプラシーボ与薬の
調査

田中 美穂

東邦大学医学部 生物学研究室